

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2003-20412(P2003-20412A)

【公開日】平成15年1月24日(2003.1.24)

【出願番号】特願2002-152108(P2002-152108)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 L 101/00

B 0 5 D 7/00

B 0 5 D 7/24

B 3 2 B 27/06

C 0 4 B 41/63

//(C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 91:06)

【F I】

C 0 8 L 101/00

B 0 5 D 7/00 D

B 0 5 D 7/24 3 0 1 F

B 3 2 B 27/06

C 0 4 B 41/63

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 91:06

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月24日(2005.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

スケール0(黒)から100(白)までのスケールにしたがって黒から白を測定するL*スケールを用いた比色測定により二次白華耐性の程度を測定した。コートされたセメント質基体が黒色のスラリーコートを有し、白華により基体表面上に白色付着物が形成されるので、L*値は白華の程度が増大するにつれ増大した。初期L*値を測定した後、コートされたセメント質基体を水浴中に入れた。セメント質基体を水浴から取り出し、18時間乾燥させた後、最終L*値を測定した。L*値の差、L* = (最終L*値) - (初期L*値)により二次白華を測定した。許容できるL*値は、0以下であり、これは許容できる二次白華耐性であることを示す。

水白化耐性試験：促進実験室試験において水白化耐性の程度を評価した。コートされたセメント質基体を60水浴(Precision Water Bath 270型循環水浴)からの湿分の凝縮水に24時間曝した。コートされた面を60の水に面して水面上4cmに保持する金属格子上で水浴上にコートされたセメント質基体を設置した。コートされたセメント質基体を水浴から取り出した直後に評価した。